

Guide 3-20 Google Scholar の使い方
北大関連の設定を中心に

Google Scholar は、近年進化し続けてきたGoogle学術情報版です。日本語文献も英語文献も一緒に検索できるなど、学術文献の使用言語問わず検索でき、また論文本文中のキーワードもヒットするなど、他の文献データベースにはない、Google らしさ溢れるデータベースです。

▶ 「Google Scholar」とは？

学術資料に限定したGoogle。無料で利用可能。収録範囲不明。

【メリット】

- 手軽に検索ができ、また、キーワードが本文にしかでてこない場合でもヒットする（PubMed、Web of Science、CiNii Articleなどは抄録までを検索）。
- Web of Scienceと同様、ヒットした論文を引用している論文一覧へのリンクがある。

【デメリット】

- シソーラスなどの機能はない。またノイズも多くなりがち。
- おそらく人間のチェックは必要最低限のため正確性に欠ける部分がある。

▶ 検索Tips

[著者で検索]

- 著者の名前を引用符で囲んで入力します。たとえば、「"a suzuki"」のように入力します。アルファベットの場合、名前の部分をイニシャルにすると、より多くの検索結果を得ることができます。

[タイトルで検索]

- 記事のタイトルを引用符で囲みます。例えば、「"A History of the China Sea"」のように入力します。指定したタイトルの記事と、その記事について言及している他の記事が自動的に検索されます。

その他、GoogleScholarでも様々な演算子や検索オプション画面を利用して複雑な検索をすることもできます。[下記図参照]

【検索オプション画面】

出版物名の指定や日付の指定などができるが、不完全または不正確な場合があるとのこと。

検索条件	
すべてのキーワードを含む	<input type="text"/>
フレーズを含む	<input type="text"/>
いずれかのキーワードを含む	<input type="text"/>
キーワードを含まない	<input type="text"/>
検索対象にする箇所	記事全体 ▾
著者を指定:	<input type="text"/> 例: "湯川秀樹", 朝永
出典を指定:	<input type="text"/> 例: 物理学会, Nature
日付を指定:	<input type="text"/> - <input type="text"/> 例: 1996
	<input type="button" value="検索"/>

HELP画面へ

巨人の肩の上に立つ

Google Scholarについて

プライバシー

規約

Google Scholar in English



便利な設定

検索結果に図書館が提供している本文へのナビゲーションサービスである「北大図書館FullTextNavi」のリンクを表示したり、自分が利用している文献管理ソフトへの出カリンクを表示させることができます。

右上の「設定」から設定開始

「図書館リンク」タブから【北大図書館FullTextNaviの設定】
[Hokkaido university]で検索
[Hokkaido University Library - Full-Text@北海道大学]を選択、保存

「検索結果」タブから【文献管理ソフトの設定】
自分の環境にあったものを選択、EndNote basicの場合は[RefMan]を選択、保存

Scholar 設定

検索結果 言語

ページあたりの表示数: 10

結果ウィンドウ

選択された各結果を新しいブラウザで開く。

文献情報マネージャ

文献取り込みリンクを表示しない

BibTeX 文献取り込みリンクを表示する

EndNote

RefMan

RefWorks

設定を保持するには、Cookieを許可する必要があります。



検索結果画面の見方

ウェブ 画像 もっと見る... ログイン

Google mr spectroscopy

Scholar 約 2,190

記事

マイ ライブラリ

期間指定なし

2014 年以降

2013 年以降

2010 年以降

期間を指定...

関連性で並べ替え

日付順に並べ替え

ウェブ全体から検索

日本語のページを検索

特許を含める

引用部分を含める

他の学術記事が言及または引用している記事をあらわす。関連情報として表示される。そのためリンクがないこともある (GoogleがWeb上で見つけられなかった。)

「北大図書館FullTextNavi」へ

ajnr.org [PDF] Full-Text @ 北海道大学

タイトルをクリックすると出版社の論文ページへ

[引用] Clinical applications of proton MR spectroscopy.
M Castillo, L Kwok... - American journal of ..., 1996 - Am Soc Neurology
Magnetic resonance (MR) spectroscopy has received little attention from the clinical radiology community. Indeed, most MR spectroscopic studies are performed by a small and dedicated group of individuals, mostly basic scientists. This behavior is partly because MR ...
引用元 382 関連記事 全 4バージョン Web of Science: 194 RefManに取り込む 引用 保存 隠す

Noninvasive differentiation of tumors with use of localized H-1 MR spectroscopy in vivo...
H Brohm, J Frahm, ML Gyngell, KD Merboldt... - Radiology, 1999 - pubs.rsna.org
A recently developed method for image-selected localized hydrogen-1 magnetic resonance (MR) spectroscopy was assessed in the differential diagnosis of nine primary and secondary cerebral tumors, including four gliomas, two meningiomas, one neuromioma, one ...
引用元 366 関連記事 全 4バージョン Web of Science: 308 RefManに取り込む 引用 保存 Resources @ 北海道大学 隠す

Characterization of neoplastic and normal human breast tissues with in vivo 1H MR spectroscopy
K A Kazianka, H B... 1999 - MR Spectroscopy

引用元：この論文を引用している論文へ
関連記事：関連性が高いとGoogleが判断したものが表示される
バージョン：同じ論文が複数サイトで読める場合、他バージョンへのリンクも表示
Web of Science：本学契約のWeb of Scienceのこの論文を引用している論文一覧へリンク
〇〇に取り込む：文献管理ソフト等に保存
引用：この論文の文献情報が表示される
保存：Googleのマイライブラリへの保存。Googleアカウントが必要。マイライブラリはラベルをつけて文献を管理できるGoogleのサービス。